

## 新潟県立月ヶ岡特別支援学校見附分校 学校評価

## 令和7年度の取組と今後に向けて

## 1 学校経営の重点における今年度の取組について

## &lt;重点1&gt; 自立と社会参加につながる力の育成と個性の伸長

- ・ 個別の指導計画の作成、計画に基づく実践、個別懇談を通じた修正案の提案を確実に行った。
- ・ 個別の教育支援計画を作成、保護者面談を確実に実施した。学校から働きかけ、生徒の居住する市の担当者を交え関係者会議を積極的に開催した。
- ・ 不登校傾向の生徒に対し、家庭訪問、配付物、電話、LINEなどの方法を使って、本人との距離感を大切にしながら、定期的な関わりを保つよう努めた。

## 項目1「学校は、一人一人の個性や教育的ニーズから適切な目標を設定し、それに応じた指導・支援を工夫していたか？」

R6	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	57.1%	38.1%	4.8%	0.0%
教職員	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%
R7	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	56.3%	40.6%	3.1%	0.0%
教職員	18.8%	68.8%	12.5%	0.0%

## 項目2「学校は、家庭や関係機関との連絡や意思疎通を十分図れるよう工夫し、連携していたか？」

R6	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%
教職員	30.0%	40.0%	30.0%	0.0%
R7	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	59.4%	37.5%	3.1%	0.0%
教職員	31.3%	62.5%	6.3%	0.0%

## &lt;重点2&gt; 見附分校のコンセプトの実現のための授業の充実

(見附分校のコンセプト：生徒の夢や希望を叶えるために、一人一人の進路に対応したカリキュラムを設定する。同年代の高校生と交流しながら学びを深めていくことができる特別支援学校を目指す。)

- ・ 2年生の後期からは、スタディコースとジョブコースの選択制とし、一人一人の希望や進路に対応できるカリキュラムを設定している。

スタディコースでは、専門学校に関する情報集めや受験に必要な学習を行った。進路に関係なく、教科の学習がしたいという生徒の希望にも応えた。

ジョブコースは、ドリップバック珈琲の製造と販売を通して、実際の社会とつながりながら、長期に渡って働く経験をした。販路拡大や、顧客からの感謝を感じ、働く意欲が向上した。

## 項目3「学校は、授業や様々な教育活動(校外学習や防災教育、性教育など)を工夫して取り組んでいたか。」

R6	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%
教職員	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
R7	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
教職員	31.3%	50.0%	18.8%	0.0%

## &lt;重点3&gt; 見附高校や専門学校、地域の職場等との連携を図る

- ・ 昨年度同様に体育祭、文化祭の学校行事を合同で実施した。
- ・ 体育の持久走の授業を合同で行った。アートの授業を見附高校の美術科教員が行った。
- ・ 「中庭プロジェクト」を合同で行っている。見附イングリッシュガーデン職員の指導を受けながら、両校の生徒が庭造りを行った。
- ・ 見附高校の職員2名と見附分校の職員2名が、関東方面へ1泊2日で先進校視察を行った。そこで得られた知見を県内の高校と支援学校分校の併設校、6校へリモート配信した。(村松高等学校・五泉特別支援学校村松分校、有恒高等学校・有恒学舎、見附高等学校・月ヶ岡特別支援学校見附分校)
- ・ 県内の高校・支援学校の併設校6校をリモートでつなぎ、生徒同士が交流する「6校会議」を開催する。(12月に開催予定だったが、2/19に延期)

- ・本間材木店様、SDGs を学ぶ会様から提供いただいた端材や古布を使った製品作りに取り組んでいる。
- ・珈琲味覚研究所様のご協力でオリジナルドリップバッグ珈琲「MITSUKE BLEND」を製造している。
- ・9月に見附青年会議所様より55周年記念式典の手土産300個の発注をいただき、MITSUKE BLENDを600個、香り袋を300個納品した。
- ・オリジナルドリップバッグ珈琲「MITSUKE BLEND」を校外で販売する活動に取り組んでいる。ネーブルみつけで地域の方に向けた販売が4回、栄通信工業(株)様で社員の方に向けた販売が1回、毎回150～200個を販売した。
- ・MITSUKE BLENDの委託販売をギャラリーみつけ様、保護猫カフェねこまち様で開始した。
- ・見附ニラ生産組合様、JAえちご中越様のご協力で、R8年度よりニラの栽培を始める。R7年度は育て方の講義をいただいた。

**項目4「学校は、生徒同士の交流(体育祭や文化祭など)を図りながら共生に向けた活動や支援の実施をしたか。」**

R6	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%
教職員	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%
R7	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	56.3%	40.6%	3.1%	0.0%
教職員	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%

**項目5「学校は、生徒のニーズに合わせながら、職場見学や校内実習などを設定する等、想定される進路先との連携や生徒の支援等を行っていたか。」**

R6	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	52.4%	47.6%	0.0%	0.0%
教職員	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%
R7	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全く当てはまらない
保護者	59.4%	37.5%	3.1%	0.0%
教職員	18.8%	81.3%	0.0%	0.0%

**<その他>**

○PTA活動

7/23 PTA交流会：ボウリング大会(サウンドボウル見附店) 参加者56名

8/22 PTA進路研修：講演会(小林克太郎様)見学会(長久の家、杉の子工房、ハート)

○オープンスクール

7/9 参加者138名 ※中学校生徒、保護者、学校職員

11/19 前半参加者30名 ※専門学校、企業、福祉、行政等

後半参加者69名 ※中学校生徒、保護者、学校職員

**2 今後の展望**

**○見附市・見附高校との交流**

- ・イングリッシュガーデンづくり、ニラ作りを通して生徒がプロの技を学ぶ。まちづくりやPRへの助力になるよう努める。
- ・見附高校と授業での交流をさらに進める。中庭プロジェクト等、生徒が共同で取り組む活動を充実させる。その中で、自校の生徒、見附高校の生徒の成長を明らかにし、両校の取り組みを県内外へ発信する。

**○不登校や集団不適応を示す生徒への支援の充実**

- ・年間30日以上欠席のある生徒は1年生18%、2年生42%、3年生40%である。まずは来ている生徒がやりがいをもって通い続ける学校にする。不登校が長期化している生徒につながりを持ち続けると共に、常に卒業後を視野に入れた外部連携を進める。
- ・集団不適応の生徒のクールダウンや個別学習のためのスペースを確保する。

**○コース制・作業課のあり方の検討**

- ・ジョブコースに人数が偏る傾向があるが、学習したい、進学したい生徒の希望に応えられるようスタディコースは維持する。スタディコースの学習内容の充実を図る。
- ・今年度よりクラフト、クリーン、サービスの3つの作業課となった。作業室が1つしかないため、作業スペースが不足する事態となっていたが、来年度は見附高校から特別教室を共用させていただける。さらにダイナミックな活動が可能となる。